数学科【数学A】 評価規準

愛媛県立今治西高等学校 数学科

教 科	数学	科	目	数学A		
単 位 数	2	学	年	1	類 型	共 通
教 科 書	数学A(数研出版)					
科目目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					

令和6年度 1学期 数学科【数学A】 評価規準

単元	第1章 場合の数と確率			
評価期間	1 学期 6 ~ 7 月			
	・場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するととも			
	に、場合の数と確率を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりす			
	る技能を身に付ける。			
単元の目標	・場合の数と確率を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象と			
	の関係を認識し統合的・発展的に考察する力、場合の数と確率を用いて事象を簡			
	潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。			
	・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・場合の数と確	率についての基	・論理的に考察する力や、不確	・場合の数と確率の考えを用い	
本的な概念や原理・法則を体		実な事象に着目し、確率の性	て考察するよさを活用しよう	
系的に理解し、事象を数学化		質などに基づいて事象の起こ	としたり、粘り強く考え数学	
したり、数学的に表現・処理し		りやすさを判断する力など、	的論拠に基づき判断したりし	
たりする技能を身に付けるよ		数理的に考察したりすること	ている。	
うにする。		ができる。	・問題解決の過程を振り返って	
			考察を深めたり、評価・改善	
			したりしようとしている。	

観点	評価内容	
知識・技能	・第1学期期末考査・週末課題の記述内容・単元小テスト	
思考・判断・表現	・第1学期期末考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察・「深める」レポートの取り組み方・週末課題の取り組み方	

令和6年度 2学期 数学科【数学A】 評価規準

単元	第1章 場合の	数と確率		
評価期間	1 学期 7月			
	・場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するととも			
	に、場合の数と確率を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりす			
	る技能を身に付ける。			
単元の目標	・場合の数と確率を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象と			
	の関係を認識し統合的・発展的に考察する力、場合の数と確率を用いて事象を簡			
	潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。			
	・粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を身に付ける。			
知識	• 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・場合の数と確率についての基		・論理的に考察する力や、不確	・場合の数と確率の考えを用い	
本的な概念や原理・法則を体		実な事象に着目し、確率の性	て考察するよさを活用しよう	
系的に理解し、事象を数学化		質などに基づいて事象の起こ	としたり、粘り強く考え数学	
したり、数学的に表現・処理し		りやすさを判断する力など、	的論拠に基づき判断したりし	
たりする技能を身に付けるよ		数理的に考察したりすること	ている。	
うにする。		ができる。	・問題解決の過程を振り返って	
			考察を深めたり、評価・改善	
			したりしようとしている。	

観点	評価内容	
知識・技能	・第2学期中間考査・週末課題の記述内容・単元小テスト	
思考・判断・表現	・第2学期中間考査 ・「深める」レポートの記述内容 ・週末課題の記述内容	
主体的に学習に取り組む態度	・教師による行動観察・「深める」レポートの取り組み方・週末課題の取り組み方	

単元	第2章 図形の性質			
評価期間	2学期 10~11月			
	・図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、			
	図形の性質を	用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を		
	身に付ける。			
単元の目標	・図形の性質を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関			
	係を認識し統合的・発展的に考察する力、図形の性質を用いて事象を簡潔			
	的確に表現す	る力を身に付ける。		
	・粘り強く考え	数学的論拠に基づき判断しようとで	する態度を身に付ける。	
知識	• 技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・図形の性質に	ついての基本的	・図形の構成要素間の関係など	・図形の性質の考えを用いて考	
な概念や原理	!・法則を体系的	に着目し、図形の性質を見い	察するよさを活用したり、粘	
に理解し、事	象を数学化した	だし、論理的に考察する力や	り強く考え数学的論拠に基づ	
り、数学的に表	表現・処理したり	数理的に考察する力を身に付	き判断したりしている。	
する技能を身	に付けることが	けることができる。	・問題解決の過程を振り返って	
できる。			考察を深めたり、評価・改善	
			したりしている。	
 観	 点		 内容	
准 尤		***	ハ 台	
		•第2学期期末考査		
知識	• 技能	・週末課題の記述内容		
		・単元小テスト		
思考・判断・表現		・第2学期期末考査		
		・「深める」レポートの記述内容		
		・週末課題の記述内容		
		教師による行動観察		
 主体的に学習に取り組む態度		・「深める」レポートの取り組み方		
	= .	・週末課題の取り組み方		
1				

単元	第3章 数学と人間の活動		
評価期間	2学期 11~12月		
	・数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとと		
	もに、数学と人間の活動を用いて事象を数学化したり、数学的に表現・処理した		
	りする技能を	身に付ける。	
単元の目標	・数学と人間の活動を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象		
	との関係を認	識し統合的・発展的に考察する力、	数学と人間の活動を用いて事象
	を簡潔・明瞭	・的確に表現する力を身に付ける。	
	・粘り強く考え	数学的論拠に基づき判断しようとで	する態度を身に付ける。
知識・	・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・数学と人間の	活動について認	・数学と人間の活動との関わり	・数学と人間の活動の考えを活
識を深め、事	象を数学化した	に着目し、事象に数学の構造	用したり、粘り強く考え数学
り、数学的に角	解釈したり、数学	を見いだし、数理的に考察す	的論拠に基づき判断したりし
的に表現・処	理したりする技	る力を身に付けることができ	ている。
能を身に付けることができ		る。	・問題解決の過程を振り返って
る。			考察を深めたり、評価・改善
			したりしている。
観	点	評価	内容
		第2学期期末考査	
知識・	・技能	・週末課題の記述内容	
		・単元小テスト	
		第2学期期末考査	
思考・判断・表現		・「深める」レポートの記述内容	
		・週末課題の記述内容	
・教師による行動観察 主体的に学習に取り組む態度 ・「深める」レポートの取り組み方			
		・「深める」レポートの取り組み方	
		・週末課題の取り組み方	